ARES GPS
Advanced Running Enhancement System

<AR-1080>
<AR-1080C>
クイックマニュアル

ARES GPSを早速使ってみましょう！

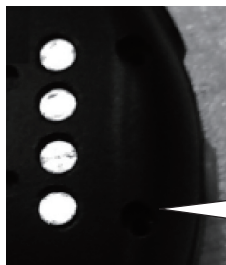
輸入販売元:
トランステクノロジー株式会社

基本的な使い方の流れは…

1 充電 → 2 GPS受信 → 3 計測モード選択 → 4 スタート → 5 ストップ → 6 セーブ(保存)

1 充電

【1】まずARESにUSBケーブルを繋ぎます。クリップに４箇所の接点がありますので、これと時計の４接点を合わせて、USB端子をパソコンかACアダプターに差込み充電をします。

【2】充電時間はバッテリーが完全になくなっている時は約４時間です。時計の液晶画面に“Charging XX%”というような表記がでますので、“Charging Complete 100%”と表示されるまで充電してください。途中でも使えますが、GPSを使う場合は消費電力が多くなりますので、ランニングの時間によってはバッテリーが不足する場合があります。

クリップの４つのピンと時計の金属コネクタが合っていることを確認して、USBをPCもしくはACアダプターに接続してください。

2 GPS受信

【1】<⑤GPS ON>ボタン(赤)を押して、GPSを受信します。GPSボタンを押すと“LOCATING SATELLITE”と表示されGPSの受信が開始されます。

【2】GPSの受信には環境により1〜5分程掛かります。(周りが高層ビルに囲まれているあるいは、高速道路の下など、上空が見えない、視界が狭い場合には受信できない場合があります。できるだけ上空の視界が開けた場所で行ってください)。雲のない上空が開けた場所で受信する場合には１〜2分程度でGPSが捕捉できます。捕捉できるとGPS受信のバー(右図;丁度携帯の電波の感度と同じ表記)が変化せずに固定されて、表示されます。

【3】バーが１本だと、ぎりぎり捕捉できていて若干距離精度が悪くなりますが、ランニングをスタートできます。バーが２本以上であれば精度良く、距離、スピードを計測できます。

【4】バーが2本以上であっても、回りに高層ビルがあったり、高架下やビルの側道を走ったりした場合にはGPSの電波が建造物に反射して、正確な位置計測が行えない場合があります。

3 計測モード選択

(RUNもしくはCHRONOの選択)

「RUNモード」はランニング中の現在時刻を表示したり、カロリー表示などのファンRUN。「CHRONOモード」はタイム計測を中心としたシリアスRUN計測です。

【1】GPSが捕捉できたら早速ランニングを開始しましょう、モードボタンを何度か押して“RUN”か“CHRO”モードにしたら、後は表示したい項目を<⑥VIEW>ボタンを押して決定し、<①ST/LAP+>(スタート)を押したら計測開始です。

【2】走る際の代表的な表示モードはRUNモード／CHRONOモードです。それぞれのモードにはいろいろな画面表示がありますが、代表的な表示をご紹介します。

・RUN モード

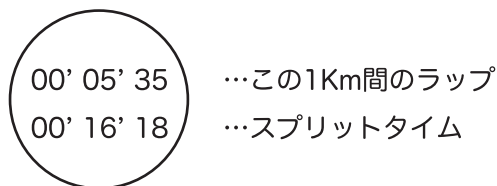
・CHRO(NO) モード

…LAP 表示
…距離表示
…走行時間

…LAP表示(大表示)
…走行表示

【3】LAPについて
購入時のデフォルト設定はオートラップ1Kmに設定されています。ご希望により、オートラップオフ、またはオートラップの距離を変えてください。

●オートラップ（1Km, 2Km, 3Km, 5Kmの変更が可）

1Km設定時は、1Km毎に5秒のアラームが鳴り、下記のような画面が10秒間表示された後、RUNモード表示もしくはCHRONOモード表示に戻ります。夜間でもラップ表示の時はライトが自動的に点灯します。

④スタート ⑤ストップ ⑥セーブ（保存）！

【1】RUNモードもしくはCRONOモードでGPS受信後、<①ST/LAP+>ボタンを押すと、計測が始まります。

【2】GPSがOFFもしくはバッテリー不足でGPSを作動出来ないときも、ラップタイムとスプリットタイム計測が可能です。

【3】測定が終わったら、<②STP/SAVE->ボタンを押して計測を終了。もう一度ボタンを押すとデータがセーブされます。

⑦使い方のコツ!

【信号機や道の横断等で止まったため計測を止めたいとき】
<②STP/SAVE->ボタンを押して測定を一時中断することができます。再スタート時は<①ST/LAP+>ボタンを押してください。

【間違ってボタンを押したので計測を中止したい時】
計測中止するには必ずデータをセーブする必要があります。<②STP/SAVE->ボタンを押した後、続けてもう一度STPボタンを押してください。SAVE（セーブ）となります。セーブ後はデータが全てリセットされますので、0’00”から再計測できますので<①ST/LAP+>ボタンで再計測してください。不要なデータは後で削除ください。

【現在時刻表示させながらランニングしたいとき】
RUNモードを選び、<⑥VIEW>ボタンを何度か押すと、最下段にCLOCK表示がでます。尚、このCLOCKはその前までに表示されていたT1もしくはT2の現地時間を表示することになります。

【暗い所で時刻あるいはランニングデータを表示させたい】
<③ENTER/EL>ボタンを押すとELランプが約５秒点灯します。

【測定終了後】
測定終了してSAVE後、モードをTIMEにしますとGPSは直ぐに切れます。あるいは“GPS OFF”にしてください（<⑤GPS ON>ボタンを押し、“GPS OFF”を設定）。

【時刻設定】
T1/T2の時刻設定はAUTOにセットしておくと、GPSデータを受信した際に、カレンダー及び時刻を自動的に受信し、最新の時刻に変更しますので、時刻設定の必要がありません。AUTOにされる場合には、あわせて国設定を行ってください。日本はTYO +9Hを選んでください。（TYO＝東京）
一般にT1を自国、T2を旅行先に設定しておくと便利です。

【時刻表示がおかしい時】
上述の説明にあるように時刻設定をAUTOにして、GPSを一度受信ください。正しい時刻が表示されます。また、T1、T2の受信地設定が間違っている場合もありますので国の設定を行ってください。

<⑥VIEW>, <④MODE>, <①ST/LAP+>, <⑤GPS ON>を同時に長押しすると、購入時の状態にリセットできます。

⑧RUNデータを見る

走った後に走行データを時計で見ることが出来ます。<④MODE>ボタンを何度か押し、“RUN DATA”にしてください。

VIEW ALL:

時計に記憶された走行データを見ることが出来ます。

表示データの意味は下記の通りです。

（例）“1015102 G” の時は…

“10”＝10月、“15”＝15日、“1”＝T1での計測（T2で測定したときは2）、“02”＝その日の2番目のデータ、“G”＝GPS使用（GPS測定を行ってない場合にはHと表示されます）。

日時＆その日の回数データに合わせ、<③ENTER/EL>ボタンを押すと

上述のデータが表示されます。

⑨LAP管理

上述のデータが表示されますが、その時に<①ST/LAP+>ボタンを押していただくと、LAP1〜測定したLAP全てのデータを見ることができます。<①ST/LAP+>ボタンをもう一度押すとLAP2データを見ることできます。